

防災特集

「避難指示」で、危険な場所から全員避難しましょう

「いのち」を守る行動を

日頃の備えって？



●危険な場所や避難先の確認

安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。自宅が危険な場所にあるか、事前に確認しておきましょう。

危険な場所や避難所は、

・ハザードマップ ・市防災ポータル (いずれも市ホームページで検索を)

で確認しましょう(パソコンなどを持っていない人にはハザードマップを各区役所で配布しています)。避難情報は、危険な場所にいる人に対して小学校区ごとに発令され、市防災情報メールなどで発信します。事前に自宅の小学校区を調べておきましょう。

●非常持ち出し品の準備

非常持ち出し品リスト

- 水(500mlのペットボトル3本程度)
- 非常食(缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- 懐中電灯・ヘッドライト □笛
- 携帯ラジオ □乾電池 □簡易寝袋
- 携帯電話用充電器 □衣類 □タオル
- 簡易携帯トイレ □雨具(カッパ)
- お薬手帳 □マスク □除菌シート
- 消毒液 □体温計 □現金(小銭を多めに) □健康保険証のコピー など

その他、乳幼児や高齢者などがある家庭はそれぞれ必要なものを準備しましょう。例:紙おむつ、液体ミルク、入れ歯、生理用品 など

- ・両手が使えるようリュックサックに
- ・水などは家族の人数分用意
- ・背負って走れる重さを目安に
- ・すぐ持ち出せる玄関近くに常備

大雨が来た！ その時どうする？

災害予防課 担当者

大雨に備えましょう

新たな避難情報

警戒レベル **1** 早期注意情報

○気象状況悪化の恐れ



警戒レベル **2** 大雨・洪水・高潮注意報

●気象状況悪化



警戒レベル **3** 高齢者等避難

●災害の恐れあり



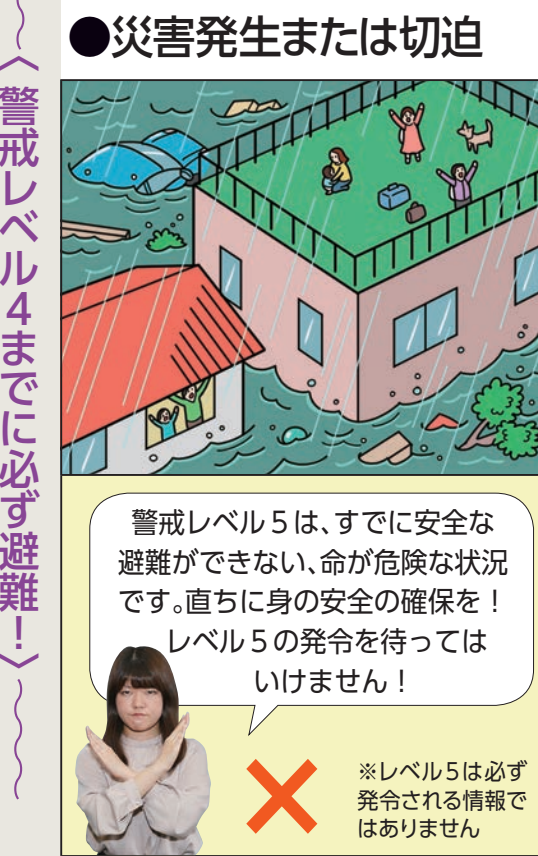
警戒レベル **4** 避難指示

●災害の恐れ高い



警戒レベル **5** 緊急安全確保

●災害発生または切迫



【ご注意】「避難勧告と避難指示」が一本化され、「避難指示」に変わります

警戒レベル	1	2	3	4	警戒レベル	5
新しい避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	高齢者等避難	避難指示	警戒レベル4までに必ず避難!	緊急安全確保
これまでの避難情報	早期注意情報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	避難準備・高齢者等避難開始	避難指示 (緊急)・避難勧告	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)	

がけ崩れ対策の無利子融資を行っています



●防災情報を入手しよう

避難誘導アプリ

「避難所へGo!」は、最寄りの避難所(開設中)へのルート表示機能や、避難情報・気象情報の通知機能があり、危険な場所の確認もできます。大雨に備えて、事前にダウンロードしておきましょう。



市防災情報メール

避難情報や気象情報、開設している避難所などの情報をメールでも配信しています。以下の登録用メールアドレスに空メールを送って、事前登録(迷惑メール設定の場合は解除してから登録)をしましょう。

entry@k-bousai.city.hiroshima.jp

他にも、以下のようなさまざまなツールで情報が発信されます。自分に合った方法で、防災情報が手元に入ってくるようにしておきましょう。

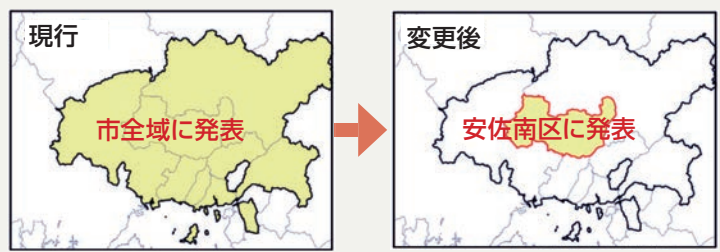
- ・市公式SNS(Twitter、Facebook など)
- ・市防災ポータル ・市ホームページ
- ・緊急速報メール
- ・防災行政無線
- ・サイレン ・テレビ(データ放送) など

●土砂災害警戒情報の発表区域が変わります

市全域から8区の行政区ごとに、6月から運用開始

土砂災害警戒情報とは、住民の自主避難の判断を支援するため、大雨による土砂災害の危険性が高まった場合に広島地方気象台と県が共同で発表する防災情報(警戒レベル4相当情報)です。

6月から土砂災害警戒情報の発表区域を広島市全域から行政区ごと(8分割)へ変更します。



●感染症を踏まえた災害時の避難

分散避難を検討しましょう

自宅などが危険な場所にある場合は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下でも安全な場所へ避難する必要があります。市が開設する避難所への避難だけでなく、安全な場所にある親戚・知人宅などに避難することも事前に検討しておきましょう。

避難先でも3つの密を避け、感染症対策を徹底しましょう

- マスク、除菌シート、体温計を持参しましょう
- マスクの着用、咳エチケットを徹底しましょう
- 頻りに手を洗いましょう

30分に1回は換気する

密接状態にならないよう距離を保つ

近距離での会話や発声は最低限で

避難所の感染症対策

- ✓ 例えば、避難所の小学校では、体育館に加えて使用可能な教室を開設
- ✓ 状況に応じて追加で避難所を開設
- ✓ 受け付けで非接触型体温計により検温した上で、健康状況の聞き取り
- ✓ 体調不良の人は、避難所内に確保した別室などの専用スペースに案内
- ✓ マスクなどの感染防護具は、持参が基本であることを防災情報メールなどで呼び掛けた上、一定量を避難所に配備
- ✓ 手洗い、咳エチケットなどの徹底を掲示物で周知
- ✓ アルコール消毒剤やウェットティッシュ、ゴム手袋などを配備し、手指の消毒や定期的な清掃を徹底
- ✓ 密閉を回避するために十分な換気を行う

健康状況の聞き取りなどにご協力をお願いします

人工呼吸器を使用する人の非常用電源設備購入費を補助します



【補助対象者】市内在住で、在宅で常時(24時間)人工呼吸器を使用(在宅常時人工呼吸器使用患者災害個別計画を策定)している人

【補助対象物】正弦波インバーター発電機、ポータブル電源(蓄電池)

【補助率】10分の9(市民税非課税世帯と生活保護世帯は10分の10)

【補助基準額】12万円 ※補助決定前に購入した物品は補助対象外 ※補助は、対象者1人につき1台

【申請】所定の申請書に見積書、個別計画の写し、常時人工呼吸器装着者であることを証明する所定の書類を添えて、お住まいの区の福祉課へ

詳しくは、区福祉課、市ホームページでご確認ください。

市HP ページ番号 136947

岡各区福祉課

区	電話番号	区	電話番号	区	電話番号
中	504-2588	南	250-4132	安佐南	831-4946
東	568-7734	西	294-6346	安佐北	819-0608
				佐伯	943-9769